

文化財だより 第169号

- 阿多古山一里塚に行ってみませんか・・・ P1～2
- 昔の授業体験 参加者募集・・・ P3
- 磐田市歴史文書館企画展を
中央図書館で展示します！・・・ P4
- コラム『校歌を通して故郷を知る』石津由行 P4

磐田市教育委員会教育部文化財課 平成 31 年 4 月 1 日発行

春だもんで ちいっと遠出をしてみまいか…

あ た こ 阿多古山一里塚に行ってみませんか

慶長9年（1604）、江戸から京に上る東海道に距離の目安となる一里塚がつくられました。400年前につくられた一里塚も、生い茂る樹木や雨水による浸食、後世の開発によって、崩壊が徐々に進んでいました。このため、平成30年度に阿多古山一里塚を将来に残すための整備工事を実施し、現在、墳丘部分の植栽を進めています。今回は、生まれ変わる阿多古山一里塚とその周辺のみどころを紹介します。



左：整備前の一里塚
下：整備後の一里塚（南西から）2019年3月撮影



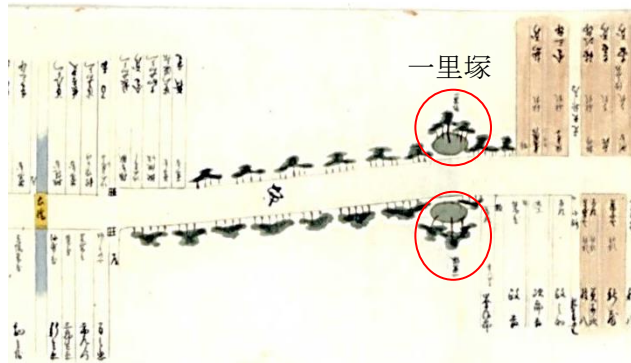
県道413号線 アクセス：秋葉バスサービス『見付天神入口』下車
遠鉄バス『見付』下車



阿多古山一里塚とは

阿多古山一里塚は、愛宕神社が鎮座する愛宕山にあったことから「阿多古山一里塚」※と呼ばれます。一里塚は5間（9m）四方の土台に高さ2～3mの円形の小山を築き、塚の上には榎や松などを植えました。阿多古山一里塚は、江戸から62番目にあたり、北の一里塚には椎、南の一里塚には松が植えられたといわれています。絵図にも一里塚の様子が描かれています。阿多古山一里塚は昭和42年に旧磐田市の史跡に、平成17年には現在の磐田市の史跡に指定されています。

※愛宕神社の旧称は「阿多古神社」



見付宿職業別町並絵図（天保13年／1842）一里塚付近拡大
1/4 いわた文化財だより 第169号



整備の様子

整備は一里塚の保全を目的としたもので、樹木を伐採し、崩れかけた南側に擁壁を設置しました。また、東からも見学しやすいように階段を設け、西から東に巡回できるようにしました。そのほか、駐車場もアスファルト敷きにしました。



一里塚と駐車場（東から）



擁壁と階段（南東から）

みどころ

頂上の石碑と三角点

一里塚頂上には大正15年に建てられた記念碑と三角点があります。三角点(4等三角点)は測量の基準点で、見晴らしのいい場所に設置されています。

みどころ

愛宕神社と眺望

記念碑と三角点



愛宕神社は火伏の神である火之迦具土命(ほのかぐつちのかみ)を祀り、7月下旬(平成31年は7月20日)の例祭には手筒花火が奉納されます。愛宕神社は城や都市などの守護神として建立されることから、見付の愛宕神社も「見付」の鎮護として祀られたものと考えられます。愛宕神社境内は今も昔も見付宿を一望することができる絶景ポイントです。



愛宕神社から見た見付 左から大正時代、拡幅前の見付(昭和55年頃)、現在の見付(平成30年)
(阿多古山一里塚は南北両側に存在していますが、北側の一里塚は立ち入りできません。)



4/16 から受付開始!

昔の授業体験 参加者募集

明治8年(1875)に落成・開校式をあげた現存する日本最古の木造擬洋風小学校校舎、旧見付学校で、^{かすり} 緋の着物を着て明治・大正期の授業を受けてみませんか。

- ★日時：①6月16日(日) ②6月30日(日) いずれも9:00~11:30
- ★会場：旧見付学校 ★対象：小学生(市内外・学年問わず)
- ★定員：①②各25名(先着順) ★参加費：500円
- ★申込：①参加希望日 ②参加者名(ふりがな) ③性別 ④学校名 ⑤学年 ⑥保護者の住所・氏名・電話番号を明記し、FAXまたはハガキで旧見付学校まで。
また、旧見付学校でも直接申し込むこともできます。
- ★その他：当日の持ち物等、詳細については郵送にてお知らせします。



当日は、緋の着物を着て、明治時代の教科書を読んだり、「ゑ」や「ゐ」などの平仮名について勉強したり、石盤に文字を書く体験をします。授業の後には、羽子板や、竹で出来た水でっぼうなど昔の遊び体験もおこなう予定です。ぜひご参加ください。

授業風景



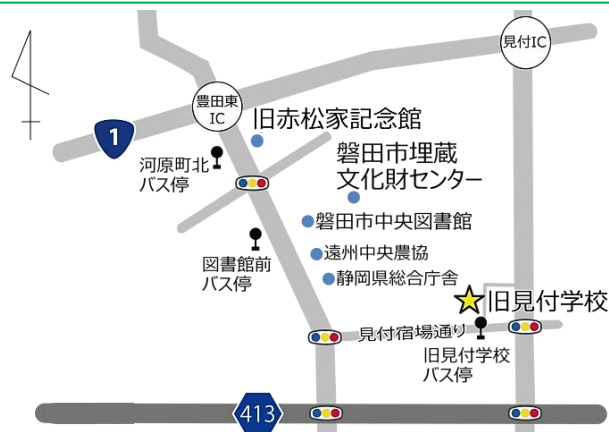
石盤に文字を書いている様子



折り紙を使った工作



竹製の水鉄砲を体験する様子



<申込・問合せ>

磐田市旧見付学校

入館無料

見学時間:午前9時~午後4時30分

休館日:月曜日・祝日の翌日

〒438-0086 磐田市見付 2452

TEL&FAX 0538-32-4511

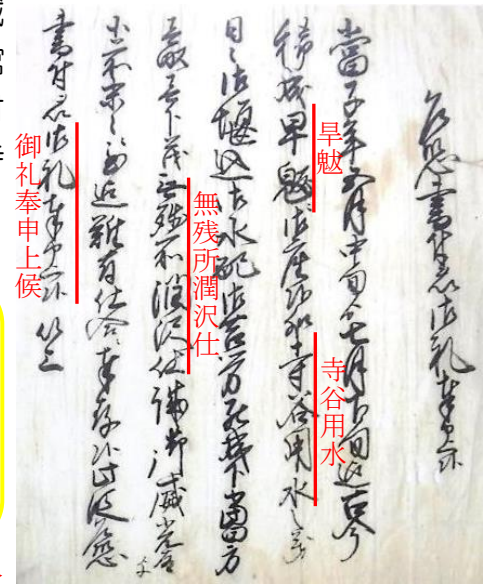
申込お待ち
しています!



磐田市歴史文書館企画展を中央図書館で展示します！

寺谷用水 ～天竜川下流域の景観を作り出した農業用水～

磐田市歴史文書館企画展『寺谷用水 ～天竜川下流域の景観を作り出した農業用水～』を磐田市立中央図書館で開催します。寺谷用水が描かれた絵図、市指定文化財の天竜川洪水絵図などを展示します。また会場では、寺谷用水にまつわる記憶・思い出を募集しています。ぜひ、お越しください。



4月20日(土)～4月28日(日)まで 入館無料

- 休館日 4月22日(月)
- 展示時間 (火～金)9時～18時 / (土・日)9時～17時
- 会場 磐田市立中央図書館
- ★職員による展示解説を行います！
- 4月21日(日)・27日(土) 14:00～(30分程度)



兼子春一家文書(嘉永5年/1852)部分

寺谷用水の開通により水が来たことで、^{かんぼつ}早魃(日照り)が解消され田が潤ったことを感謝する文書

問合せ先 磐田市歴史文書館 TEL: 0538-66-9112 FAX: 0538-66-9722

職員リレー コラム

校歌を通して故郷を知る

石津 由行

桜の花も咲き、すっかり春になりました。新入学の季節ですね。ピカピカの一年生、小さな背中に大きなランドセル、何だかランドセルが歩いているような光景を目にします。

さて、皆さん、ご自身が通った小学校の校歌を覚えていますか？小学生の頃はなんとなく歌っていた私ですが、今になれば、校歌というものは地域の様子を実に良く表しているものだと思います。私が通った小学校の校歌を紹介します。

まず一番『遠州灘の潮騒も・・・』そして二番『工業都市の朝明けは にぎわし家々の機の音よ 織りなせる千筋の布は 空に描くうるわしき希望・・・』私が通っていたのは福田小学校です。海に面し、織物産業が盛んな地域であることがお分かりいただけるのではないのでしょうか。子供の頃は織物工場の特徴である、のこぎり屋根の建物が沢山あり、町のあちこちから機の音が聞こえていました。カブ(オートバイ)でビーム(糸を巻きつけるドラム状のもの)を運んでいる人も良く目にしたものです。

皆さんが通った学校の校歌も地域の様子やこんな人になって欲しいという思いが綴られているのではないのでしょうか。口ずさめば、当時の風景が蘇り、あらためて自分が育った地域の風習や文化について考える時間があるのではないかと思います。そして、初心で純粹であった頃の自分を思い出すことができるかもしれませんよ(笑)。



編	今年、旧見付学校でおこなわれる昔の
集	授業体験の開催が6月になりました。市
後	内は勿論、磐田市外の小学生も参加した
記	だけです。ぜひ、ご参加ください。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。 磐田市 文化財だより 検索